



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2021年5月号

早稲田の数学爆弾で文系でも数学が必須になるかも

早稲田大学の政治経済学部が、一般入試で数学を必須科目にしたことが大きな波紋を投げかけています。そもそも経済学部は数学の力がとても必要な学問なので、日本だけが数学を免除しているのは珍しいことなのだそうです。九州大学には経済工学部という理系の文系と言われる学科もあるくらいです。

しかし、なぜこのようなことになったのでしょうか？さかのぼること30年ほど前、1980年代後半から「個性尊重」や「多様な人材を集める」などという理由による「入試改革」が私立大学文系学部を中心に始まったのです。それは、少子化による受験生減少の時代に向けて、「少科目入試」による「偏差値の吊り上げ」が本当の目的であったそうです。

入試での偏差値は、生徒が受験した科目の日頃の成績と合否結果で算出します。数学と理科の偏差値は40であるものの、英語と社会の偏差値が70の生徒と数学、理科、英語、社会ごとの科目の偏差値も65の生徒が受験した場合、英語と社会だけで受験できる大学では前者が合格し、後者は不合格になります。すると、その大学は偏差値70の人は合格するものの偏差値65の人は不合格になる「超ハイレベル」な大学ということになります。

このような少科目入試を私立大学文系学部が始めた頃は、1科目を入試必須科目から外すと偏差値は

5ポイント上昇することが相場でした。外すのに一番都合だった科目が苦手な人が多い数学でした。学生の育成という理念よりも、目先の利益に目が眩んでしまった悪例となってしまったのです。

当時でさえ経済の分野では大きな問題となり、賛否が沸き上がりました。海外では経済の分野では理系並みの数学力を必要としていたからです。

高校でも理系と文系に分かれる日本の慣習はかなり珍しいことのようにです。IT化でこれから益々数学的能力は高いものが求められる時代になってきているにも関わらず、このような状況の日本に警鐘を鳴らしている人も多数います。日本のIT化の遅れの原因はここだという人もいるくらいです。

そのような中、早稲田の政治経済学部が放った爆弾は今後どのように波及していくのでしょうか？

早稲田大学は、数学を入れることで偏差値が下がってしまうかもしれないリスクを負って決断したのです。私立のトップだからこそのなせる業なのかもしれません。まさに早稲田あっぱれと言ったところでしょうか？

早稲田大学は2018年に、政治経済学部の一般入試で数学を必須科目(数学Ⅰ・A)にすることで発表し、3年間の周知期間を経て今年2月に実施しました。数学が必須科目になることによる受験生

の激減は当初から予想されていたとはいえ、2020年の5584人に対し今年の3495人になってしまいました。

当然、この問題はマスクミでもいろいろ取り上げられていますが、ほとんどが「大学の受験生が増えた・減った」という観点から論じているようです。

今後、ますます情報社会になっていくことが予想され、多くのデータを解析して判断する能力が要求される社会になっていく中で、分析力や判断推理力はとても重要な要素になっていきます。その原点となる能力は数学によって培われるといっても過言ではありません。

以前、人事の仕事をしていて関係で採用担当者ともよく話をする機会があるのですが、中には国立大学にこだわる採用担当者も数多く見ました。その根底には、安易に受験教科を絞った学生よりも幅広く学んだ学生を評価する傾向があったのですが、その中でも最も重要視されていたのが数学の力でした。思想信条や感覚だけではなく理論的な思考で問題を解決していく人材が欲しいとのことでした。

私の母校である防衛大学でも設立当初は、第二次世界大戦の反省を踏まえ理系の大学として設立された経緯があります。論理的思考を重視していたのです。

早稲田の投じた爆弾が、大学を偏差値という難易度で評価する時代から、教育理念や研究成果など本質的な評価で判断される時代になることを願っています。

やる気相談室

情報

25年より情報必修化で共通テストに「情報」

大学入試センターは3月24日、2025年1月の大学入学共通テストから、新教科としてプログラミングを含む「情報」を出題すると発表されました。

また、高校の新学習指導要領を踏まえ、現行の6教科30科目から、情報を加えた7教科21科に再編されることも併せて発表されました。変更の概要は表1にまとめてありますので参照してください。

このようなこともあり、最近では英語だけでなくプログラミングもブームになっているようです。面談でもプログラミングをお子様には学ばせている保護者様が増え、よく話題に上がるようになってきました。

この場をお借りして宣伝させていただきます。実は糸島学習塾YFSでも細々とプログラミング教室を実施しているのです。(笑)

ソフトバンクさんの社会貢献プログラムという企画に参加させていただき、人型ロボットを使ったプログラミング教室を行っています。塾との兼ね合いもあり第2第4土曜日しか授業出来ないのがネックなのですが、都合が合えば教材費(初期投資)不要、月額5500円の格安で通っていただくことが可能です。授業時間も90分と長く、講師もプログラミングに興味を持って

いる九大生で、現在、小学校1年生から3までの生徒が通ってくれています。興味のある方は是非ご連絡くださいませ。宣伝はさておき、共通テスト「情報」のサンプル問題も出たこととその解説動画を見てみました。

第一印象は、他の科目と同様、長文や会話文から文脈を読み解く力が必要で、実際のプログラミングの経験よりも国語力が問われる問題が多いように感じました。興味深かったのは、情報デザインとデータの活用スキルを問われる問題です。情報を読み込みその問題を整理して、それをどのように

図に表したら相手に伝わるのかを問う問題でした。プレゼンの資料を作るときにも役立つようなスキルだと感じました。

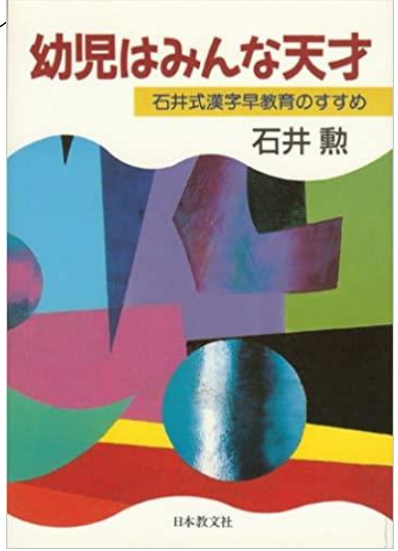
私は、プログラミングのことはわかりませんが問題の全体を通して見たときに、新学習指導要領に盛り込まれている「主体的な問題発見や解決」「数学的思考力」というものが色濃く反映されているように感じました。このような問題は、糸島エリアにはないのですが、公立の中高一貫校の受験問題でよく取り扱われる問題に似ています。このような問題に強くなるためには中学受験用の問題を解くことや、今月から始めるEQジムの受講もお勧めです。

今後とも試行錯誤の連続でしょうが、日本の行方を左右することになります。

表1：大学入学共通テストの変更箇所

2024年まで	6教科 30科目	25年から	7教科 21科目
国語	国語	国語	国語
世界史A 世界史B 日本史A 日本史B	地理 歴史	地理 歴史	地理 歴史
現代社会 倫理 政治・経済 倫理・政治・経済	数学I 数学II 数学II・B 簿記・会計 情報関係基礎	公民 公共、倫理 公共、政治・経済	公民 公共、倫理 公共、政治・経済
物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	物理 化学 生物 地学	数学I 数学II 数学II・B 数学C	数学I 数学II 数学II・B 数学C
英語 ドイツ語 フランス語	英語 ドイツ語 フランス語	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	物理 化学 生物 地学
中国語 韓国語	中国語 韓国語	英語 ドイツ語 フランス語	英語 ドイツ語 フランス語
	情報	外国語 中国語 韓国語	外国語 中国語 韓国語
		情報	情報

(大学入試センターより)



書籍紹介 幼児はみんな天才-石井式漢字早教育のすすめ 石井勲著

昭和62年に発刊された本ですがいまだに販売されているロングセラーの本です。速読の授業で導入している辞書引き学習の深谷氏おすすめの本です。この本は理論を書き並べた本ではなく実践の本なので、数多くの実績とやり方が書いてあります。家庭でも食事前の5分間で実行できる内容です。小学校では約1000の漢字を学ぶそうですが、1000の漢字を暗記出来る生徒は30%程度に過ぎません。しかし、幼稚園の3年間で暗記させるとほぼ100%の子供達が、いとも簡単に1000の漢字を覚えてしまうそうです。幼児期はある意味漢字を暗記するには最適の時期なのだそうです。しかも楽しみながら覚えてしまうそうです。ひらがなよりも漢字が難しいというのは、大人が勝手に決めつけているだけで、子供にとっては特徴のないひらがなよりも、特徴のある漢字の方が圧倒的に覚えやすいのです。人間でも特徴のある顔の人は一瞬で覚えてしまいます。それと同じなのです。また、普段漢字で使われているものは漢字で覚えさせないと子供たちは混乱するのだそうです。「学校」は常に漢字で書かれています。「がっこう」とは教科書だけにしか書かれていません。普段使われているものを覚えさせることが効率の良い学びにつながるのだそうです。漢字は物の形から作られたものも多く、子供たちにとってはイメージしやすい覚えやすい最高の教材だったのです。